

研究名： 神経芽細胞腫における LAT1 の発現と機能の解析

1. 研究の目的

神経芽細胞腫は乳児期に発生する最多の小児悪性腫瘍で、予後は多岐にわたりますが、小児固形腫瘍の中でも難治性の腫瘍群に含まれます。高リスク群に分類される神経芽細胞腫に対しては手術、抗がん剤、放射線治療等を組み合わせた集学的治療を行いますが、治療効果は十分とは言えません。そのため新たな治療方法の開発が強く求められます。

今回、私たちは癌細胞に特異的に発現し、治療抵抗性や予後に関連する L 型アミノ酸トランスポーター 1 (LAT1) の神経芽細胞腫における発現について調べ、統計学的に解析し、新たな治療法・診断法の可能性を探ります。当該研究は群馬大学と群馬県立小児医療センターの共同研究として行います。

2. 研究の方法

①研究対象：群馬大学医学部附属病院および当センターにおいて 1998 年 1 月 1 日～2020 年 5 月 31 日の期間に神経芽細胞腫で外科治療された方

②研究方法：後方視的研究

3. 研究に用いる試料・情報の種類

群馬大学医学部附属病院および当センターで治療された患者さんの年齢、性別、原発部位、遠隔転移の有無、MYCN 遺伝子（※）増幅の有無、病理組織学的診断、病理標本（STMN Family の発現の評価）、生存期間、無再発生存期間、再発形式を使って検討を行います。

また、神経芽細胞腫においてこれらの因子と予後とがどう関わっているのかを検討します。既存のデータを解析対象としますので、新たに追加で検査はしません。

※MYCN 遺伝子：がん遺伝子の一つで、この遺伝子が増えている神経芽腫は高リスク群に分類され、より強い治療が必要になります。

個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

4. 情報の公表

論文として公開する予定です。

5. 研究実施機関

群馬大学医学部附属病院および群馬県立小児医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター外科 西 明

住所：群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551

○研究責任者：

鈴木奈緒美（群馬大学大学院総合外科学講座小児外科学分野 医員）

当センターにおける共同研究者 西 明（群馬県立小児医療センター外科）